

## [成果情報名] 所得等簡易試算ツールの開発

[要約] 規模拡大や品目導入等における収支を試算する所得等簡易試算ツールは、入力項目が極めて少なく、繰り返しの試算も容易で、旬別労働時間や経営形態別の試算が可能であるため、先導的農業者の所得向上に向けた営農計画策定の支援において、容易な操作で活用できる。

[キーワード] 先導的農業者、営農計画策定、旬別労働時間、所得、簡易試算、ツール

[担当] 農林技術開発センター・研究企画部門・研究企画室

[連絡先] (代表) 0957-26-3330、(直通) 0957-26-4328

[区分] 総合・営農

[分類] 普及

---

## [背景・ねらい]

先導的農業者<sup>(注)</sup>等が経営改善を図る際、規模拡大や品目導入による所得や雇用労力の有無など試算した上で、営農計画を策定することが重要である。そこで、先導的農業者の所得向上に向けた品目の組み合わせや雇用の確保等営農計画策定の支援を図るため、指導機関または農業者自らが操作しやすい経営収支や労働時間の試算ツールを開発する。

## [成果の内容・特徴]

1. 所得等簡易試算ツールは、支援対象の農業者の経営面積や従事状況等をあらかじめ設定することにより、品目の選定と規模の入力程度で経営全体及び品目毎の収支や労働時間を試算でき、品目や規模、従事条件などを変更しての繰り返しの試算が容易である(図1、2、3、4)。
2. 労働時間については、旬別の試算が可能であり、外部資本を調達し、経営規模拡大を図る企業の経営などにおける雇用の確保、作業計画の策定等の労務管理を支援できる(図5)。
3. 家族経営だけでなく、法人経営の試算も選択できるため、法人における経営計画策定のほか、集落営農の法人化や企業の経営へ移行する際のシミュレーションも可能である。
4. 長崎県農林業基準技術等の経営指標をもとに、地域や農業者の生産量、単価、費用などを用い、独自の経営指標を容易に作成でき、農業者の実態に近い試算が可能である。
5. 操作が少なく、迅速に試算できるため、農業者の利用が容易であり、指導機関が面談等において条件を変更しながらの計画提案が可能である。また、10品目が選定可能であり、多様な複合経営における先導的農業者の規模拡大や品目導入等の経営計画策定を支援するツールである。

## [成果の活用面・留意点]

1. 長崎県農林業基準技術の176品目を登録しており、農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針の地域別指標を登録する予定である。
2. 本ツールのプログラムはMicrosoft Excel2002で作成している。

(注)先導的農業者：ながさき農山村活性化計画に基づく、農業所得400万円以上を確保し、さらに所得向上を目指す主業農家

[具体的データ]

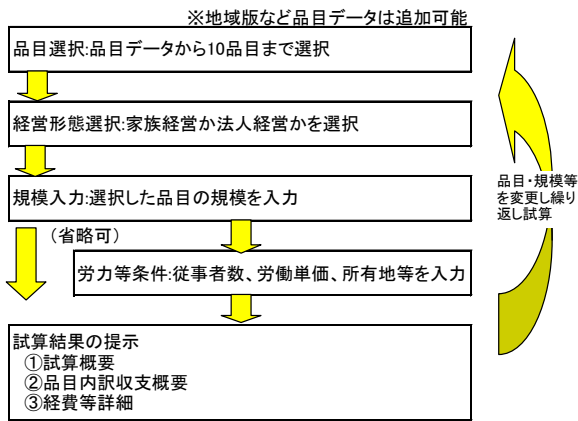


図1 操作手順

県基準技術品目リスト(H2O)など搭載経営指標一覧(野菜)

番号	品目名	地域	番号	品目名	地域	番号	品目名
201	ばれいしよ早掘りマルチ	共通	226	御刺トマト	共通	251	普通たまねぎ
202	ばれいしよ春作マルチ	共通	227	なす促成	共通	252	しょうが平成
203	冬にんじん1	共通	228	きゅうり夏秋	共通		
204	春はくさい	共通	229	まいが平成	共通		
205	冬にんじん2	共通	230	まいがトンネル	共通		
206	春にんじん						
207	秋冬だいこん						
208	春だいこん						
209	ばれいしよトンネル						
210	ばれいしよ早掘りマ						
211	ばれいしよ春作マル						
212	ばれいしよ秋作						
213	ばれいしよ春作マル						
214	レタス年内どり						
215	レタス年明けどり						
216	さちのか産冷						
217	さちのか普通						
218	さちのか高産						
219	トマト促成						
220	きゅうり促成						
221	きゅうり平成						
222	アスパラガス						
223	とよのか高産						
224	とよのか産冷						
225	ミニトマト促成	共通	250	早出したまねぎ	共通		

図2 品目入力画面

図3 規模入力画面

農業収入 19,038,572円	経営費 15,134,207円	農業所得 3,904,364円	農業所得率 21%	1日当農業所得 7,822円
労働時間 4,278時間	家族労働時間 3,993時間	臨時雇用時間 285時間	労働時間最大旬 12月下旬 389.3時間	労働時間最小旬 6月下旬 31時間
所得最大品目 春だいこん	869,550円	農業所得率最大品目 春だいこん	25%	
労働時間最大品目 繁殖牛30頭	労働時間 886時間	経営耕地 265a	借入地 65a	

図4 試算結果概要

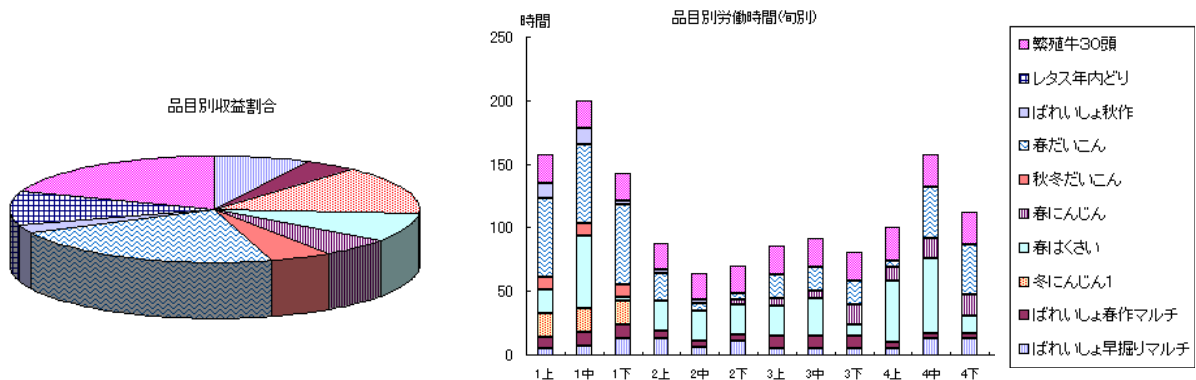


図5 試算結果(品目別収益割合、旬別労働時間グラフ)

[その他]

研究課題名：企業的農業経営確立手法の開発

予算区分：県単

研究期間：2011～2013年度

研究担当者：清水一也、盛高正史